

らぶ Sports@

スポーツを愛する市民の専属情報紙
 12/29号
 毎週水曜日発行
 らぶき民報(水曜)

地区高校新人バレーの女子を制した磐城一の平山玲奈選手。打点の高さにボールの角度。県トップレベルのスパイクで悲願のタイトルを狙う。

新チーム、
 新戦力が躍動の一步

地区高校新人バレーボール

泉がデイヴィジョン1を制す

めひかりリーグ市中学サッカーリーグ

県切符を目指して全カブレ

県ジュニアダブルス・県春季選抜ジュニアシングルステニス
 地区予選 18歳以下の部

challenge!
 2010

赤井ミニバスケットボールスポーツ少年団

challenge! 2010 赤井ミニバスケットボール少年団



赤井ミニバスケットボール少年団の女子チームは、今月18、19日に相模地区で開催された第42回全国ミニバスケットボール大会の県予選を兼ねた第26回県ミニバスケットボール優勝大会に出場。初優勝を果たすとともに、来年3月29日から3日間、埼玉県さいたま市で開催する全国大会出場を決めた。

いわき地区第1代表の赤井は、一回戦から順調に勝ち上がり、決勝戦では、新チーム結成後の県大会となった新人大会準決勝で対戦し、45-27で破っている岡田女子(会津1位)と対戦した。この大会でも第1クォーターは19-8とリードしたが、第2クォーターは1-10で0-10と1点差まで追られた。しかしここで気持ちを切り替えた選手たちは第3クォーター以降、16-0の船生友香(6年)、主将でもある159センチの晴香(同)の双子の姉妹を中心に本来の動きを取り戻し、終わってからは52-30で初の県大会優勝を決めた。

阿部公緒ヘッドコーチは「晴香と友香が鋭いマークに遭って点を取れないとき、木田や猪狩ら他の選手がカバーして点を争われるようになった。ディフェンスも後半はしっかりとした評価した。昨シーズンは6年生が1人しかおらず、5年生主体のチームは厳しい戦いを強いられましたが、多くの試合経験を積むことができた。その礎があって今季は3月の新人大会、6月の県総体、そして今回の優勝大会までの主要大会すべて「初優勝」という形で制した。

全員が赤井小の子供たちだが、学校の体育館は現在補修工事中で使えず、今年は小川や小玉小、高坂小などの好意で体育館を使わせてもらって練習してきた。船生長久監督は「それに由良北中さんと練習することもできた。選手たちは苦しい状況の中で仲間同士、あうんの呼吸でプレーできるようになった」と言う。全国大会で見分けた力がどこまで通じるか、選手たちは3月を楽しみにしている。

▽選手11 船生晴香 木田史音 猪狩咲子 船生友香 滝口真生 ティビス清鈴(以上6年) 小沢花音 樋口夏歩(以上5年) ティビス路安奈(4年) 町田美羽 樋口真果 阿部瑞嘉(以上3年) 滝口日向 金成麻緒(以上2年) 斎藤愛 大和田遥奈(以上1年)



第37回県ジュニアダブルス選手権兼第30回春季選抜ジュニアダブルス選手権 いわき地区選・18歳以下の部

いわきテニス協会主催、いわき地区高体連テニス専門部主催で、12の両日、平テニスコートで開催。県大会の出場権を巡り、白熱の攻防を繰り広げた。県大会はダブルスが来年1月8、9の両日に同コート、シングルスが同29、30の両日に相模地区で開催。



マルトめひかりリーグ 第4回いわき市中学生サッカーリーグ2010

同リーグは市内19チームが出場し、9月に開幕。まず地区別リーグのファーストステージを戦い、その成績をもとにファイナルステージで最終順位を決定した。最終日は19日、いわきグリーンフィールドなどで熱戦を展開。このうちディヴィジョン1では泉が4勝1分けの無敗で優勝を飾り、同2は平一、同3は小浜一が制した。



22年度福島県高校新人体育大会 いわき地区大会バレーボール競技



大会は男女6女子と出場し、17、18日の2日間の日程で市立総合体育館で熱戦を繰り広げた。男子は当たりのリーグ戦、女子は3ブロックに分かれて争奪リーグを戦った。順位決定リーグで激突、白熱の勝負の連続、男子は平工業が20年ぶりの優勝、女子は磐城が連覇を4に伸ばした。◆大会の男子の上位6、女子の上位は、井上2月10日市で開かれる県大会に出場。

らぶ@スポ編集部が選ぶ

2010 いわきのスポーツ 10大ニュース

らぶ@スポーツも今年最後の掲載となりました。さまざまな競技、幅広い世代のスポーツ現場に足を運び、競技者、応援者、運営者と一緒に多くの感動を共有してきた1年でした。そこで今回は、あくまでも編集部の私見ですが、今年のいわきのスポーツ 10大ニュースを企画してみました。皆さんも今年1年を振り返ってみてはいかがでしょうか。

③悲願の日本一!! 常磐軟式野球スポ少が日本学童を制す。

高松宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメントが8月14～19の6日間、東京都の大田スタジアムなどで開かれ、本県代表として出場した常磐軟式野球スポーツ少年団が悲願の初優勝を飾った。決勝では打線が2けた安打を放ち、福岡県代表の宮ノ陣クラブに10-3で大勝。過去連覇を3位とあと一歩のところまで全国制覇を逃してきたが、17度目の挑戦で初の栄冠を手にし、全国1万5000チームの頂点に立った。



②いわきGSで巨人1軍初の公式戦を開催。1万7821人の観衆がスタンドで熱狂。

プロ野球セリリーグ・公式戦「巨人-広島」が7月6日、いわきグリーンスタジアムで開かれ、1万7821人の観衆がいわき初開催の巨人1軍公式戦に熱狂した。試合は7回、3点を追いかける巨人が小笠原選手の適時打で1点差に詰め寄ると、続くラミレス選手が左翼スタンドに飛び込む2点本塁打を放って逆転。8-7で接戦を制した。試合後のグラウンドには市内の小學生らが迎え入れられ、ヒーローインタビューを終えたラミレス選手とハイタッチ。一生に残る夏の思い出をつくっていた。



①いわきサンシャインマラソンが産声を上げる。フルマラソンには3143人が参加。歴史的な第一歩を記す。

県内初の日本陸連公認コースのフルマラソン大会「第一回いわきサンシャインマラソン」が2月14日、小名浜港アクアマリンパークを拠点に開かれた。フルマラソン、10キロ、5キロ、2キロ、2キロ親子の全29部門に県内外から4964人・247組が出場し、新たなスポーツイベントの誕生に立ち会った。このうち、いわき陸上競技場をスタートしたフルマラソンには3143人が出場。スタートから6時間の時間制限をクリアし、2864人が見事完走を果たした。男子の総合優勝は秋谷正紀選手(ニッポンランナーズ・千葉県)でタイムは2時間29分16秒。女子は田辺美代選手(ACC KITA・同)が2時間57分41秒で制した。大がかりな交通規制が設けられる中、各路線の沿道には多くの市民が詰めかけたほか、第1折り返し地点の江名漁港には25基の鮮やかな大漁旗が掲げられるなど、ランナーの背中を後押しする熱い応援が繰り返された。第2回大会は来年2月13日に開かれる。



⑧タイトル総なめ。中央台バレーボールクラブが快進撃。

小学校バレーボールで女子の中央台バレーボールクラブが数々のタイトルを手にした。県内の主要4大会のうち、3大会で優勝。夏の全日本にも初めて出場した。今月には県小学生選手権も制し、来年3月に三重県で開かれる全国スポーツ少年団交流大会の出場権も獲得。上位入賞を目指して2度目の全国舞台に挑む。

⑥山の神・柏原だけじゃない。箱根駅伝にいわき出身4選手が出場した。東洋大の柏原竜二選手(いわき総合台卒)は2年連続で山よりの5区で区間新をたたき出し、総合2連覇に貢献。このほか専修大の安島慎吾選手(勿来工業卒)が4区、駒沢大の境上宏光選手(いわき総合高卒)が7区、上武大の古瀬弘賢選手(同)が8区に出場した。

⑦全国中学駅伝にいわき勢が男女アベック出場。女子の平一が9位入賞。全国中学駅伝に男子の中央台南、女子の平一が出場。いわき勢が男女そろって全国舞台に立った。12月19日に山口県で開かれた全国大会でも、2年連続で東北チャンピオンに輝いた平一が、初出場ながら入賞まであと一歩の9位と躍進。2年連続出場の中台南も31位ながら、昨年のタイムを上回る健闘を見せた。

④馬術、剣道、陸上…。インターハイでいわき勢が躍動。

インターハイでいわき勢が上位に入賞。馬術で宮野将太郎選手(勿来工業)が優勝、剣道男子個人戦で鶴岡貴大選手(湯本)が準優勝、陸上女子走り高跳びで山平紗代選手(磐城)が3位に食い込んだ。



④磐城二高出身のプロボクサー・バズーカ細野が世界タイトルに挑戦。

磐城二高出身の細野悟選手が1月11日、WBA世界スーパーバンタム級のタイトルマッチに挑戦。タイの選手にきん差の判定で敗れたが、ファンの心を揺さぶる健闘を見せた。



⑩球児の夏。いわき勢、今年も甲子園に届かず。全国高校野球選手権福島大会で、いわき勢が苦戦した。前回優勝の東日大昌平が3回戦敗退。磐城の8強が最高で優勝争いに絡めなかった。これでいわき勢は平成7年以来、夏の甲子園から遠ざかっている。

⑨高校ラグビーで磐城が春、冬の全国大会ダブル出場。高校ラグビーで磐城が春の選抜、冬の選手権と全国大会ダブル出場を果たした。4月の選抜には福島県勢として初挑戦。2年連続で挑んだ選手権では今年27日の初戦で大分舞鶴に敗れるも、全国の強豪と堂々と渡り合った。

情報くりっぽ

- 【30～1月12日】
 - 【1月1日】▼第30回新春本郷フェスティバルマラソン大会(JAいわき市小川支店駐車場付近発着点コース)
 - 【4日】▼いわきジュニアテニストーナメントinウインター(平テニスコート) 11時5分、6日。
 - 【8日】▼22年度県高校新人体育大会バスケットボール競技大会(市立総合体育館、平工業高校、磐城高、磐城桜が丘高、いわき光洋高) 11時、10日▼第38回県ジュニアダブルステニス選手権大会(平テニスコート) 11時9日。
 - 【9日】▼コカ・コーラ杯争奪戦第33回県サッカースポーツ少年団フェスティバル(いわきグリーンフィールド、21世紀の森公園多目的広場) 11時10日▼2011年韓国(大邸)・日本交流ソフトテニス大会(かんぼの宿テニスコート、富岡町ふれあいドーム) 11時10日▼第10回少年柔道錬成交流会(南部アリーナ)▼新春初打ち会(南部テニスコート)
- 【告知】NPO法人いわき市民マラソンを支援する会主催のマラソン教室が来年1月15日、21世紀の森公園で開かれる。講師を務めるのは、元ふくしま駅伝いわき市チーム監督で、現在は湯本高校の長距離コーチを務めている小山内孝光さん。対象はジョギング愛好者で、定員は若干名。参加費は500円。当日は午後1時50分までに、いわきグリーンフィールド前に集合。教室の開催時間は午後2時～4時。詳細は、会長の大友茂さんへ電話090(2798)4656まで。

水曜日の顔

